ISSN 2433-2291

千葉大学

人文公共学研究論集

（旧　社会文化科学研究・人文社会科学研究）

第 42 号

論文

方　亮　『遐邇貫珍』に関する一考察：日本関係記事をめぐって 1

宮下美砂子　子ども文化の現代的様相―玩具・人形からの考察― 19

成田　凌、長船亜紀子
「農家の娘」の家業継承意識と結婚観
―青森県の 20 ～ 30 歳代シングル女性農業者を事例に 35

鈴木南音　「1960 年代以後の日本社会におけるうつ病の概念的変遷」への追補 53

謝　蘇杭　幕末の救荒実践としての実学的本草学
―伊藤圭介と岩崎灌園の救荒実践を中心に― 69

T. アルタンバガナ
ウラーンムチル芸術歌舞団の改革期における上演作品
―中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗の事例から― 83

Vebtasvili　The Identity of Human Resources in Tournament Theory 99

ウニバト　内モンゴルのスニド左旗における牧畜民の固定施設について
―固定家屋と畜舎の普及状況と建築動機 107

研究ノート

村岡英裕、高　民定、藤田依久子
外国人住民の社会参加とリテラシーの支援に関する調査
―千葉市と岡山市の事例― 127

書評

大西好宣　【書評】山内乾史・武寛子編著（2016）
『学修支援と高等教育の質保証Ⅱ』学文社 145

2021 年 3 月

千葉大学大学院人文公共学府

ISSN 2433-2291

千葉大学

人文公共学研究論集

（旧　社会文化科学研究・人文社会科学研究）

第 42 号

論文

近世後期における余荷米慣行論争をめぐって　―椿新田万力村の事例　金子美佐子　1

大岡昇平文学における「事実」の〈創作〉―『レイテ戦記』を中心に―　中山　新也　17

「晩秋」論―志賀直哉〈山科もの〉概念の解体と「材料」の問題について―　重永　楽　35

「近代」の二律背反（アンチノミー）―ベンヤミンのボードレール論　内村　博信　53

2021 年 3 月

千葉大学大学院人文公共学府

VEGETABLE OIL INK

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

Journal of Studies on Humanities and Public Affairs of Chiba University

Vol.42 – 2021.3

ARTICLES

FANG Liang — A Research on *Chinese Serial*: Focusing on Japan-related Articles and News 1

MIYASHITA Misako — Modern Aspect of Child Culture : A Study from Toys and Dolls 19

NARITA Ryo, OSAFUNE Akiko — The Farmars daughters' way of thinking about inheriting their family business and marriage : The case study of single female farmars in their 20s and 30s in Aomori Prefecture 35

SUZUKI Minato — Supplement to "Transformations of the Concept of Depression in Japan after the 1960s" 53

SHA Soko — Practical Herbology as a Practice of Famine Relief at the End of the Edo Period: Focusing on Ito Keisuke and Iwasaki Kanen 69

T. ALTANBAGANA — Ulaγan möčir Art Troupe Performance works in Reform period : The case of the ongniüt banner in Chifeng City, Inner Mongolia, China 83

Vebtasvili — The Identity of Human Resources in Tournament Theory 99

WUNIBATU — The immobilization facilities for Nomads in Sonit left banner Inner Mongolia-Motivation for the popularization and construction of houses and sheds 107

RESEARCH NOTE

MURAOKA Hidehiro, KO Minjoeng, FUJITA Ikuko — Preliminary Research on Social Participation and Literacy Support for Foreign Residence in Japan: The Cases of Chiba and Okayama Cities 127

BOOK REVIEW

ONISHI Yoshinobu — Book Review –Kenshi YAMANOUCHI & Hiroko TAKE (2016) *Learning Support and Quality Assurance of Higher Education* 145

(Vertical Writing)

ARTICLES

KANEKO Misako — The meaning debate on adjustment of mutual aid custom"Yonaimai" case of Tsubakisinden Manrikimura 1

NAKAYAMA Shinya — 〈Creation〉 of "facts" in Shohei Ooka's literature –Focusing on *Leyte Senki*– 17

SHIGENAGA Raku — A study of "The End of Autumn (Banshu) " : Thinking on a problem of "the source (Zairyō)" and dismantling the works called "Yamashinamono" in Naoya SHIGA 35

UCHIMURA Hironobu — Die Antinomie der Moderne in Walter Benjamins Baudelaire-Essay 53

Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs

執筆者紹介（掲載順）

※括弧内は本学府または人文社会科学研究科博士後期課程在学生の指導教員。太字は主任指導教員。

方　亮（ふぁん　りゃん）	人文公共学府博士後期課程（**山田　賢**、内山直樹、岩城高広）
宮下美砂子（みやしたみさこ）	小田原短期大学特任講師
成田　凌（なりた　りょう）	東京都立大学大学院人文科学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員
長船亜紀子（おさふねあきこ）	人文公共学府博士後期課程（**米村千代**、出口泰靖、清水洋行）
鈴木南音（すずきみなと）	人文公共学府博士後期課程（**西阪仰**、山田圭一、鶴田幸恵）
謝　蘇杭（しゃ　そこう）	人文公共学府博士後期課程（**山田　賢**、田草川みずき、内山直樹）
T. アルタンバガナ（T あるたんばがな）	人文公共学府博士後期課程（**吉田　睦**、小谷真吾、中川　裕）
Vebtasvili	人文公共学府博士後期課程（**小野理恵**、大石亜希子、青山耕治）
ウニバト（うにばと）	人文公共学府博士後期課程（**吉田　睦**、中川　裕、周　飛帆）
村岡英裕（むらおかひでひろ）	国際学術研究院教授
高　民定（こう　みんじょん）	国際学術研究院准教授
藤田依久子（ふじたいくこ）	環太平洋大学次世代教育学部准教授
大西好宣（おおにしよしのぶ）	国際未来教育基幹教授
金子美佐子（かねこみさこ）	人文社会科学研究科博士後期課程（**池田　忍**、山田　賢、水島治郎）
中山新也（なかやましんや）	人文公共学府博士後期課程（**大原祐治**、柴佳世乃、田草川みずき）
重永　楽（しげなが　らく）	人文公共学府博士後期課程（**大原祐治**、兼岡理恵、田草川みずき）
内村博信（うちむらひろのぶ）	社会科学研究院教授

『千葉大学人文公共学研究論集』投稿規程

平成２９年４月１日制定
紀要委員会決定

第 1 条（目的）

千葉大学人文公共学研究論集（以下「本紀要」という。）は、千葉大学大学院人文公共学府（以下「本学府」という。）の研究紀要であり、本学府での研究活動の成果を内外に公表し、また院生にも研究成果の発表の場を提供することによって、研究成果を共有し、かつ広く社会に公開し、本学府での一層の研究活動の発展を目指すことを目的とする。

第 2 条（編集発行者と発行回数）

本紀要は、毎年１回発行し、編集・発行については、紀要委員会（以下「委員会」という。）がこれを行うものとする。ただし、委員会が必要と判断した場合には、複数回発行することができる。

第 3 条（投稿資格）

a.（投稿資格者）

本紀要に投稿する資格を有する者は、以下のとおりである。

(1)　本学府において、研究・教育に従事している教員
(2)　休学者を除く本学府及び人文社会科学研究科の博士後期課程所属院生（ただし、指導教員が査読の上、承認したものに限って掲載するものとする。）
(3)　本学府博士後期課程及び人文社会科学研究科・社会文化科学研究科の学位取得者、単位取得退学者（ただし、本項の該当者が多数に及ぶ場合は、委員会にて調整を行うことがある。）
(4)　委員会が特に必要を認めた者（ただし、投稿者の申請による場合は、委員会が別に定める届出の提出を要する。）

b.（休学者等の投稿について）

休学者、退学者（単位取得退学者を除く。）は、原則として、本紀要に単独で投稿することはできない。

本紀要への投稿後、学期内に休学した者は、その学期発行の号への掲載はできない。復学時に改めて投稿するものとする。

c.（複数人による投稿について）

複数人によるひとつの投稿は、論文、研究ノート、論文に準ずる字数で書かれている翻訳及び史資料紹介のみとし、本学府において研究・教育に従事している教員１名以上を含まなければならない。

第 4 条（スタイルガイド）

執筆については、委員会が別途作成するスタイルガイド（紀要執筆要領）に従うものとする。

第 5 条（未発表・完全原稿）

投稿原稿は、全て未発表のものとし、完全原稿で委員会へ提出する。

第 6 条（修正）

投稿された原稿について、委員会が書き直しを求める場合がある。

第 7 条（著作権）

本紀要に掲載された記事・論文などの著作権はそれぞれ著作者に属するが、各著作者は、本紀要の電子化・公開に必要な限度でその権利が本学府によって行使されることを承認するものとする。

『千葉大学人文公共学研究論集』第 42 号
2021 年 3 月 29 日 発行
編集兼発行者 千葉大学大学院人文公共学府
表紙デザイン　森　佳三（社会文化科学研究科博士課程修了生）
〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 TEL/FAX 043-290-3823
印刷所　共立速記印刷株式会社